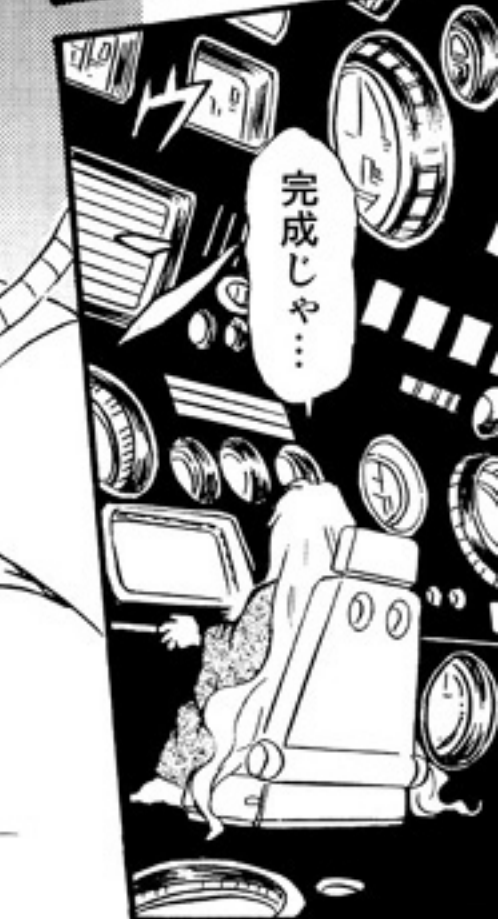
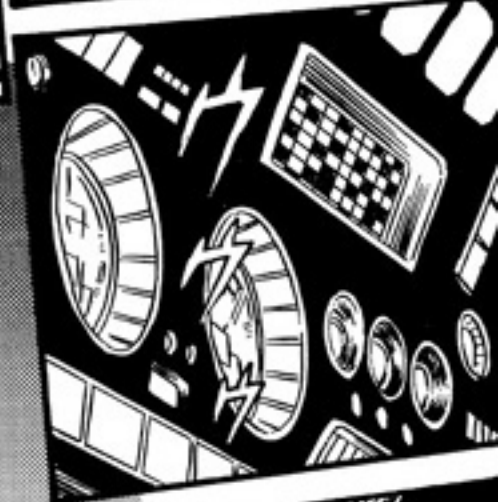




ゼロステーション

IRIE YAMAZAKI







久しぶりだね
メートル…

貴方は…？

忘れたのかい
メートル？
僕だよ…

ほら…



ま…
まさか!?

ゼ…

ゼロ…？



ゼロなの
貴方…？

にか



今日君が
スリーナイン
999でこの
星に来るのは
知っていた
んだ…

……

鉄郎クンと
いう機械の体を
タダで貰える
星へ行こうと
している少年と
一緒にね…

遠い昔の…



僕のように…



メートル…
君はあの頃と
少しも変わって
いないんだね

いや…
姿形は
違うけど…



同じ…
哀しい瞳だ
……

ゼロは機械の体になるのを嫌がって999を途中下車していった少年…

次元転送装置を使ったのね…

そうだよ

でもこの少年があのゼロであるはず無いわ…

あなた…私をさらってどうしようと言うのです？

110千



やっ…止めなさい!!

ああ

ダ…ダメだよ
メーテル…

す…すぐに
降ろしなさい



